

## 研修会報告

令和8年2月5日

文責： 奥明日香

研修会テーマ「臨床に伝える力と尿中異型細胞の理解」

開催日時 令和8年1月24日（土） 13:00～15:15

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 白井竜二

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 40 名 入会申請中会員 0 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 40 名

講演 1 「一般検査室から臨床へ ～画像やコメントで伝える検査所見の意義～」

講師：仙台市立病院 臨床検査科 八島 若奈 技師  
東北大学病院 臨床検査部 後藤 優宝 技師

講演 2 「尿路上皮癌を中心とした尿中異型細胞の基本」

講師：社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院 臨床検査科 久米 賢 技師

15:15 終了

### 内容

本研修会は「臨床に伝える力と尿中異型細胞の理解」をテーマに、Web 研修会を開催した。

講演 1 では「一般検査室から臨床へ ～画像やコメントで伝える検査所見の意義～」というタイトルで、仙台市立病院 臨床検査科 八島 若奈 技師と、東北大学病院 臨床検査部 後藤 優宝 技師にご講演いただいた。

前半の仙台市立病院 臨床検査科 八島 若奈 技師のご講演では、症例を提示して頂き、実際に検査室ではどのように対応したのかを紹介していただいた。検査結果を登録するだけでなく、登録した検査結果にどのような意義があるのかを説明・提案・助言することで、付加価値のある結果を報告することができ、臨床のニーズに応えることができるのではないか、という内容であった。

後半の東北大学病院 臨床検査部 後藤 優宝 技師のご講演では臨床検査技師が直接観察して得た画像やコメントを迅速に臨床へフィードバックすることの重要性が具体的な症例を通じて共有された。数値データだけでは伝えきれない詳細な検査所見の報告が医師の早期診断や治療方針の変更に直結し、臨床に大きく貢献できることが示された。

講演 2 では「尿路上皮癌を中心とした尿中異型細胞の基本」というタイトルで、社会医療

法人 三栄会 ツカザキ病院 臨床検査科 久米 賢 技師よりご講演いただいた。尿沈渣検査が非侵襲的で迅速なスクリーニング手段であり、異型細胞の早期発見が極めて重要であることが示された。特に臨床側との連携においては初出現時の確実な連絡やカルテ情報の確認、患者背景を考慮した具体的なコメント付記が、適切な診断や治療への移行を支える鍵となることが共有された。

今回得られたアンケートを参考にさせていただき、宮城県臨床検査技師会員の知識をアップデートできるような研修会を提供したいと考えていえる。